

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 40 号

第 40 週(10月 1日 ~ 10月 7日)

発行年月日:平成19年(2007年) 10月12日

発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

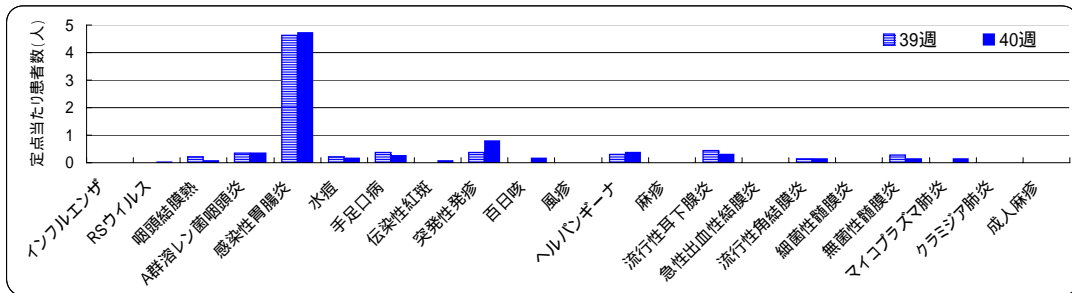
#### 百日咳の発生は高島保健所管内で急増 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第37~40週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数とほぼ同じです。今週増加した疾患は突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ等で、減少した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、水痘、手足口病等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

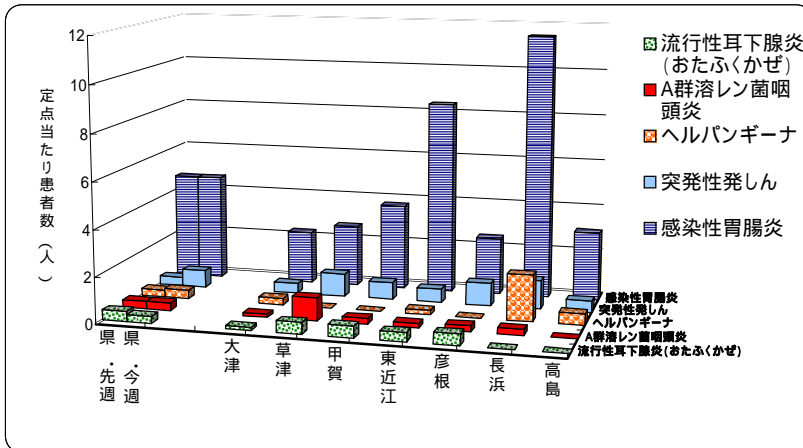
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、百日咳では高島に警報が発生しています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で5名、五類感染症の後天性免疫不全症候群で1名の届出がありました。

#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第40週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、突発性発しん、ヘルパンギーナ、A群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は東近江および長浜で先週に引き続き多い状態となっています。また、ヘルパンギーナは長浜でやや多くなっています。

#### 感染症のミニ知識 ~百日咳~

百日咳は百日咳菌に感染することにより起こる急性の呼吸器感染症で、特有のけいれん性の咳発作を起こします。乳児期には重症化しやすく死亡したり、脳症による重度の障害を残すこともあります。

- ・**感染様式**: 飛沫感染、接触感染
- ・**潜伏期間**: 7~10日
- ・**臨床症状**: カタル期(1~2週間) : かせ様症状、感染力が強い  
 咳(発作)期(2~3週間): 短い咳が連続的に発生し(スタッカート)、息を吸い込む時に笛のようなヒューという音が出る(笛声)。乳児では肺炎、脳症等を発症することもある。  
 回復期(2, 3週間以上) : 時々、発作性の咳が出る。
- ・**治療**: 抗菌薬を投与(カタル期初期)する。
- ・**予防**: 乳幼児期に百日咳ワクチンを接種する。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (40週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (40週)	全国 (40週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	5	130	10,642	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	10	1	47
	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 2	391	<sup>(*)3</sup> 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	0	44	3,647	54	3,910
	パラチフス	0	1	15	0	24
四類感染症	E型肝炎	0	0	44	2	70
	A型肝炎	0	0	121	21	316
	デング熱	0	1	72	0	57
	マラリア	0	1	38	0	61
	レジオネラ症	0	6	486	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	9	596	8	738
	ウイルス性肝炎	0	1	176	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	4	112	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	79	6	107
	後天性免疫不全症候群	1	7	1,110	8	1,301
	ジアルジア症	0	1	39	1	87
	梅毒	0	0	532	4	625
	破傷風	0	0	73	1	115
	急性脳炎	0	2	178	1	160

\*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分です。

\*3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第40週(10/1～10/7) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 227例	三類感染症: 細菌性赤痢 7例	腸管出血性大腸菌感染症 212例	腸チフス 3例	四類感染症: A型肝炎 2例	四類感染症: デング熱 1例	ライム病 1例	レジオネラ症 11例	五類感染症: アメーバ赤痢 4例	ジアルジア症 1例	梅毒 10例	破傷風 2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 12例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3例	ウイルス性肝炎 2例
-------------	----------------	-----------------	------------------	---------	----------------	----------------	---------	------------	------------------	-----------	--------	--------	-----------------------	------------------	-------------------	--------------------	------------

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点<sup>\*</sup>から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。<sup>\*</sup>疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第35～40週、8/27～10/7)

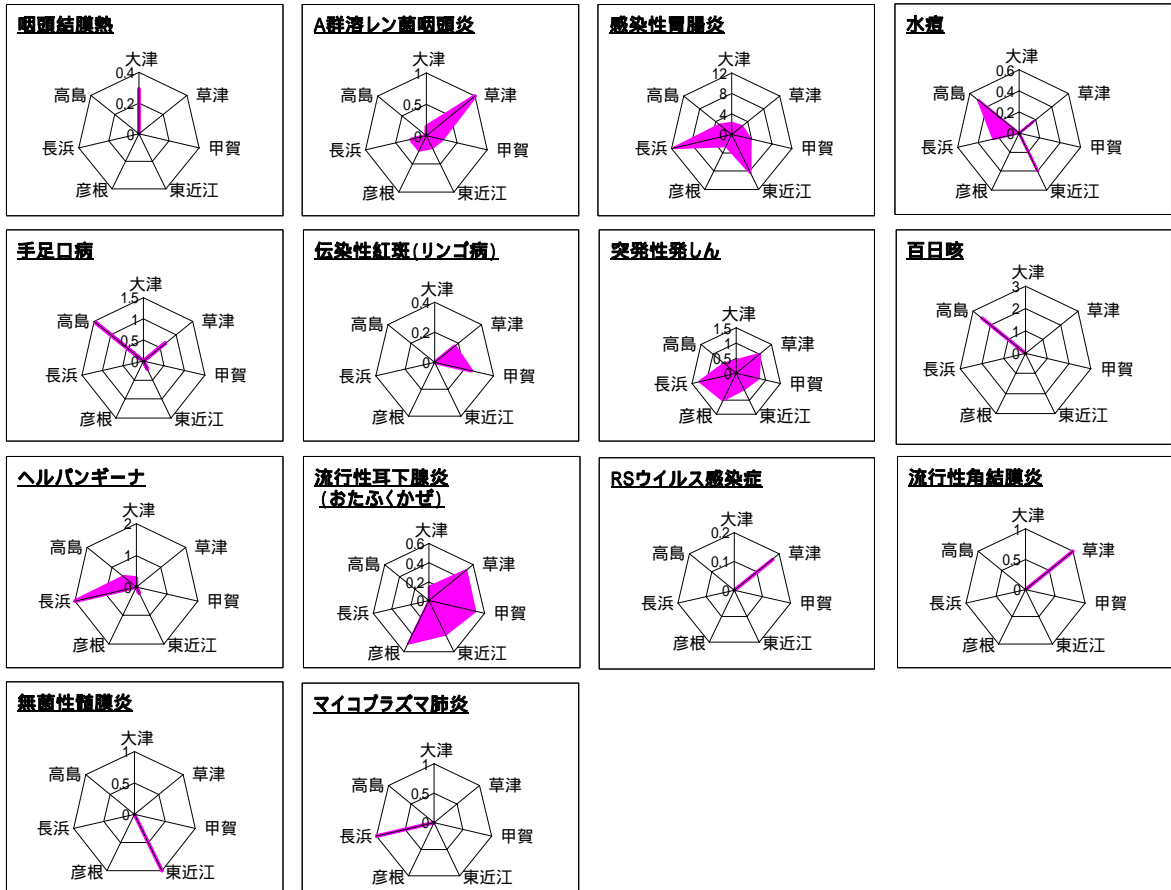
疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	35週		36週		37週		38週		39週		40週	
	(8/27～)	(9/3～)	(9/10～)	(9/17～)	(9/24～)	(10/1～)	36	37	38	39	40	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0						
RSウイルス感染症	0	0.06	0	0	0	0.03						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.44	0.16	0.16	0.38	0.22	0.06						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	0.53	0.28	0.44	0.34	0.34						
感染性胃腸炎	3.81	4.34	5.00	4.16	4.63	4.72						
水痘	0.28	0.31	0.25	0.38	0.22	0.16						
手足口病	0.25	0.25	0.09	0.34	0.38	0.25						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0.22	0.09	0	0	0.06						
突発性発疹	0.44	0.50	0.72	0.78	0.38	0.78						
百日咳	0	0.03	0.03	0	0	0.16						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.69	0.81	0.69	0.44	0.31	0.38						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.25	0.13	0.38	0.16	0.44	0.31						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.29	0.57	0.43	0.14	0.14	0.14						
細菌性髄膜炎	0	0	0.29	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0.29	0.14						
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.29	0.29	0	0	0.14						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第40週, 10/1～10/7)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	0.14	1.00	0.25	0.20	0.25	0.25	0	
感染性胃腸炎	4.72	2.29	2.67	3.75	8.40	2.50	11.50	3.00	
水痘	0.16	0	0.17	0	0.40	0	0.25	0.50	
手足口病	0.25	0	0.67	0	0.20	0	0	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0.17	0.25	0	0	0	0	
突発性発しん	0.78	0.43	1.00	0.75	0.60	1.00	1.25	0.50	
百日咳	0.16	0	0	0	0	0	0	2.50	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.38	0.29	0	0	0.20	0	2.00	0.50	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.31	0.14	0.50	0.50	0.40	0.50	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	1.00	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加    
 ■ は警報発生中    
 ■ は注意報発生中    
 0 1 2 3 4 5  
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

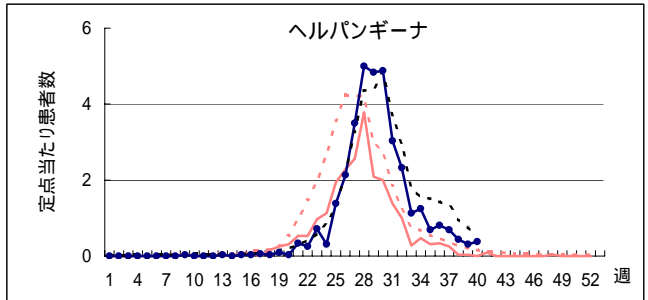
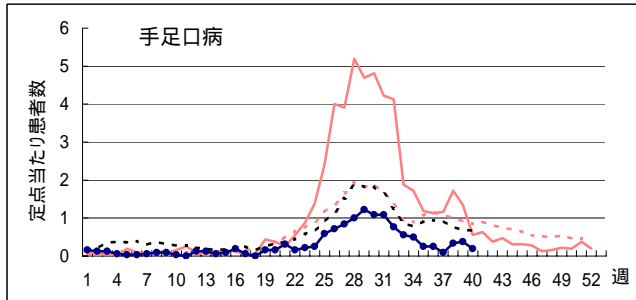
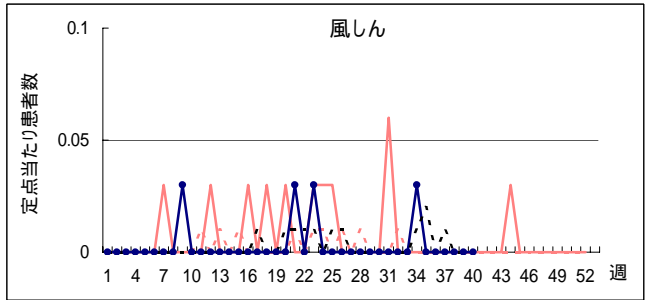
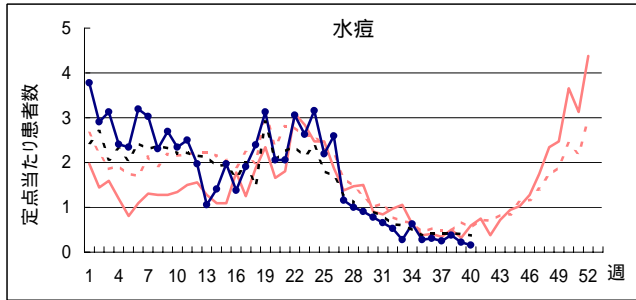
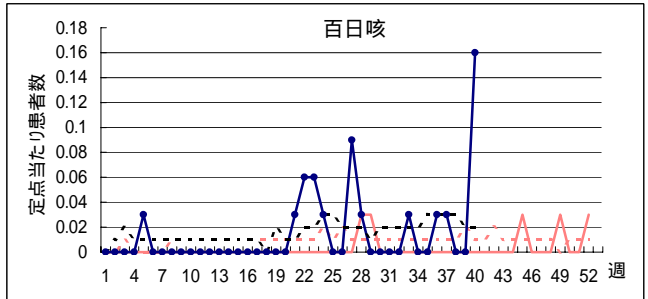
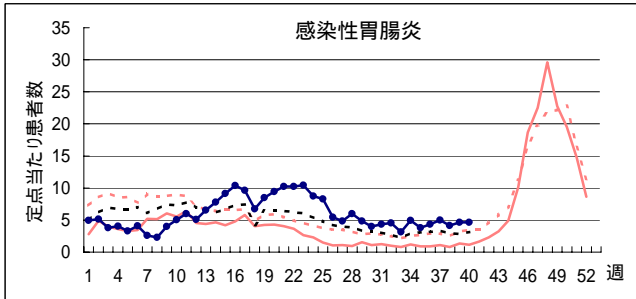
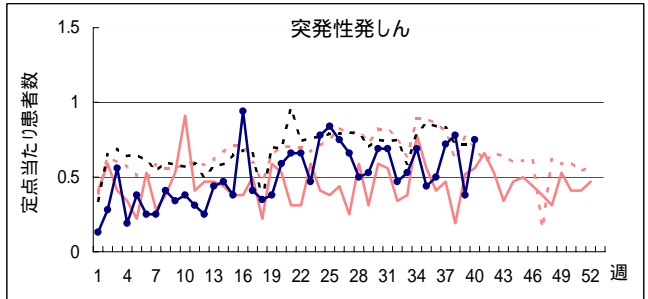
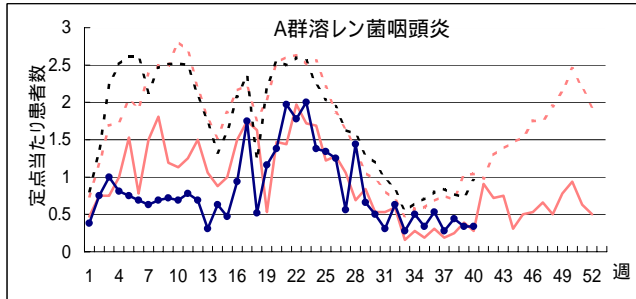
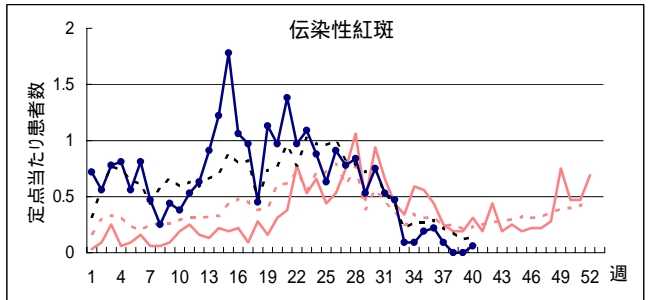
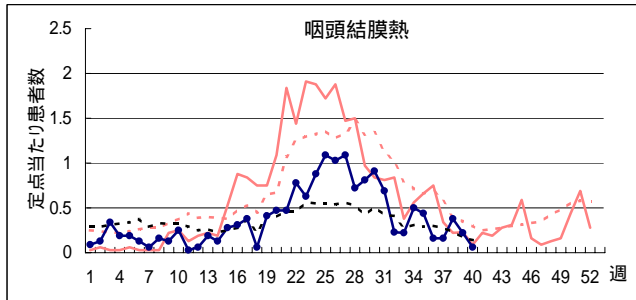
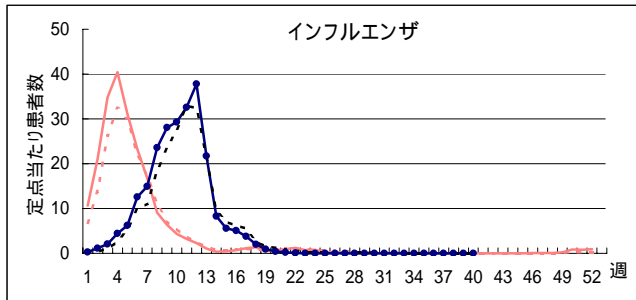
- 咽頭結膜熱-----東近江では連続して警報が発生していましたが、今週の定点当たり患者数は警報継続基準値(0.10)以下となりました。40週現在、県内に警報は発生していません。
- 感染性胃腸炎-----県全体の定点当たり患者数は先週と同じですが、長浜では先週よりかなり増加しています。今後の発生状況に注意が必要です。
- 百日咳-----高島からの報告が多くなっています。年齢別では、3歳、6歳、8歳、10～14歳および20～29歳で、それぞれ1名ずつです。また、定点当たり患者数は2.50で、警報開始基準値(1.0)を超えているため警報が発生しています。
- ヘルパンギーナ-----県全体では先週よりやや増加しており、特に長浜からの報告が多くなっています。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第37~40週、9/10~10/7)

感染症類型	疾患名	1~36週の 累積報告数	37~40週の 報告年月日	概 要		
				菌種 血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・ 感染経路等
一類感染症	報告なし					
二類感染症	結核	115	H19.9.13	肺結核	日本国内	その他
		感染法改正により第4週から集計	H19.9.13	肺結核	日本国内	不明
			H19.9.14	その他の結核(無症病原菌保有者)	日本国内	その他
			H19.9.14	その他の結核(急性結核感染症)	日本国内	その他
			H19.9.14	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.9.15	結核性胸膜炎	日本国内	不明
			H19.9.20	頸部リンパ管結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.9.21	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.9.21	肺結核	インド	不明
			H19.9.26	肺結核	日本国内	不明
			H19.9.27	肺結核	日本国内	不明
			H19.9.28	肺結核	日本国内	不明
			H19.9.27	肺結核	日本国内	不明
			H19.9.28	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.3	肺結核	日本国内	その他
			H19.10.4	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
			H19.10.4	肺結核	日本国内	飛沫・飛沫核感染
		H19.10.5	肺結核	日本国内	不明	
		H19.10.9	肺結核	日本国内	不明	

感染症類型	疾患名	1~36週の 累積報告数	37~40週の 報告年月日	概 要		
				菌種 血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・ 感染経路等
三類感染症	細菌性赤痢 (~H19.3.31は二類感染症)	2(*)	報告なし			
		(*)検査法第26条の2に基づき検査所長から滋賀県庁への通知による				
	バチルス (~H19.3.31は二類感染症)	0	H19.9.30		スリランカ タイ	経口感染
	腸管出血性大腸菌感染症	36	H19.9.10	血清型 O157 産生毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明
			H19.9.12	血清型 O157 産生毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明
			H19.9.13	血清型 O157 産生毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.9.13	血清型 O157 産生毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.9.14	血清型 O157 産生毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	経口感染
			H19.9.14	血清型 O157 産生毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明
			H19.9.17	血清型 O157 産生毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内	不明
			H19.9.26	血清型 O157 産生毒素型:VT1(+)	日本国内	不明
		* VT1:ベロ毒素型 VT2:ベロ毒素型				
四類感染症	デング熱	1	報告なし			
	マラリア	1	報告なし			
	レジオネラ症	6	報告なし			
五類感染症	アメリシオネラ	9	報告なし			
	ウイルス性肝炎	1	報告なし			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	H19.9.11	同定済	日本国内	不明
	後天性免疫不全症候群	6	H19.10.5	無定異期	日本国内	同性間性的接触
	シリアリア症	0	H19.9.19		日本国内	経口感染
	急性虫咬症	2	報告なし			

# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第40週、H19.1.1～H19.10.7)



# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第40週、H19.1.1～H19.10.7)

H18  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -

H19  
 〔 滋賀 ●—●—  
     全国 - - - - -

